

## 施策評価調書(3年度実績)

政策体系	施策名	構造改革の更なる加速	所管部局名	農林水産部	施策コード	Ⅱ-1-(1)
	政策名	挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	関係部局名	農林水産部	長期総合計画頁	77

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	水田の畑地化による 高収益な園芸品目等への生産転換	全国トップレベルの肉用牛産地づくり (おおいた和牛日本一プロジェクト)	循環型林業の確立による 林業・木材産業の成長産業化	水産業の資源管理の強化と成長産業化
取組No.	⑤			
取組項目	スマート農林水産業の実現			

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125								
i 農林水産業による創出額(億円)	①②③ ④⑤	H25	2,134	2,433 (R2)	2,102 (R2)	86.4%	2,650 (R5)													
	農業産出額	①②⑤	H25	1,276	1,404 (R2)	1,208 (R2)	86.0%	1,534 (R5)												
		うち園芸	①⑤	H25	574	665 (R2)	572 (R2)	86.0%	744 (R5)											
		うち畜産	②⑤	H25	414	492 (R2)	430 (R2)	87.4%	550 (R5)											
	林業産出額	③⑤	H25	181	220 (R2)	175 (R2)	79.5%	240 (R5)												
	水産業産出額	④⑤	H25	386	423 (R2)	332 (R2)	78.5%	462 (R5)												
	付加価値額、交付金等	①②③ ④⑤	H25	291	386 (R2)	387 (R2)	100.3%	414 (R5)												

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 達成 不十分	<p>R2年の創出額は2,102億円で、農業産出額は園芸品目の拡大等で4年ぶりに増加したものの、コロナ禍による木材需要や外食需要の減などによって、林業産出額、水産業産出額は減少し、目標値を下回った。</p> <p>農業は1,208億円(+1.1%)。トビイロウンカの被害等により収量が大きく低下した米や、コロナ禍による外食需要の減少で価格が低下した肉用牛で減少したものの、県域で拡大を図る園芸品目の生産量増加や価格上昇を受けて4年ぶりに増加した。林業は175億円(△17.1%)。木材生産は消費増税前の住宅駆け込み需要の反動とコロナ禍の需要減により生産量・単価ともに下落したことから、達成度が79.5%となった。水産業は332億円(△19.6%)。コロナ禍による外食需要の減などにより単価が下落したことで、漁船漁業、養殖業ともに減少し、達成度が78.5%となった。</p> <p>(農林水産業産出額の国の公表が約1年後となることから、R3年度の目標値・実績値にはR2年の数値を記載している。)</p>	達成 不十分

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換に向けて、必要な生産資材等を支援した結果、目標を超える115haを転換できた。
②	・肉用牛ブランド化推進のため、著名人をPR大使として、SNSによるイベント等を行った結果、「おおいた和牛」取扱店が246店舗(+68店舗)に拡大した。 ・第12回全共出品対策においては、全区出品に向け、各地区で候補牛の出品指導を行い、5月の地区予選会、8月の県代表最終選抜会を経て、全区で候補牛を選抜した。
③	・木材の素材生産量の増加に向けて、事業体に対し高性能林業機械の導入等を支援するとともに、路網整備や施業地の集約化に取り組んだ結果、認定林業事業体の主伐生産性は10.4m <sup>3</sup> /人・日(+0.4)となった。
④	・養殖クロマグロの赤潮被害対策として、R1年度から赤潮密度の低い深層飼育を可能とする生けすの開発を支援しており、R3年度は魚の衝突防止の効果向上のため、さらに網の視認性が上がる改良を行った。
⑤	・「大分県スマート農林水産業推進方針」に基づき、各部門毎にICT等の先端技術を活用した生産性向上・省力化技術を推進した結果、スマート農業技術の導入経営体数が594経営体(+16.9%)となった。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	農地中間管理推進事業	116.7	158
	大規模園芸産地形成促進事業	115.0	159
②	おおいた和牛流通促進対策事業	120.0	160
	第12回全国和牛能力共進会対策事業	98.4	162
	肥育・繁殖牛生産性向上対策事業	98.3	161
③	林業事業体強化推進事業	91.3	162
④	養殖マグロ成長産業化推進事業	180.0	163
	資源造成型栽培漁業推進事業	92.4	164
⑤	スマート農業普及拡大事業	113.1	165

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○農業システム再生に向けた行動宣言(R3.10)</p> <p>・農業非常事態宣言を受け、県内農業団体と県とで設置した農業総合戦略会議では、生産者団体へのヒアリング等を通じ、県農業の再生に向けた行動宣言をとりまとめた。今後は、関係団体が団結して具体的な行動に移る。</p>	
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<p>・農業総合戦略会議でとりまとめた「行動宣言」に基づき、生産者、農業団体、市町村による一体となった取り組みをしっかりと後押しするため、産地拡大、担い手育成から営農指導、流通・販売強化、農協改革まで総合的な対策を講じ、農業の成長産業化を図る。</p> <p>・園芸では、大分の顔となる園芸品目を育成するため、県域での加速度的な産地拡大が見込めるねぎ、ピーマン、高精度かんしょ、ベリーの4品目を「短期集中県域支援品目」に設定し、生産者、農業団体等が行う産地拡大に繋がる取組に対し、集中的かつ総合的に支援する。</p> <p>・畜産では、全国トップレベルの肉用牛産地づくりと耕畜連携の促進に向けて、キャトルステーションの整備に対して支援する。また、繁殖牛の導入支援による生産基盤の強化を図るほか、付加価値の高い枝肉生産を目指し、和牛肉のおいしさに着目した調査・研究を行い、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会で日本一を目指す。また、全共会場におけるPRを行うとともに、県内でも県民参加型のイベント等を実施し、ブランド化を推進する。</p> <p>・林業では、循環型林業の推進に向け、素材生産量の増大を目指す事業体に対し、高性能林業機械の導入や人材育成の支援を行うとともに、早生樹等の植林や大径材の活用促進を図る。また、造林用機械の導入を支援し、中核林業経営体等の育成を図る。</p> <p>・水産業では、漁船漁業の振興に向けて資源管理の徹底や放流用種苗生産施設(漁業公社)の整備を行う。養殖業の成長産業化に向けては、小型天然モジャコ育成技術開発やブリ人工種苗供給体制の確立、新加工場整備の推進など生産・流通体制の強化を図る。加えて、県外量販店・飲食店と連携した販路拡大を推進する。</p>